学校番号	302

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新　数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	パラレルノート　数学Ｂ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・公式を覚えることは必要ですが、暗記だけに終わらせるのではなく、なぜその公式が成り立つのか、どんな問題でどの公式をどのように使うのかを理解することが必要です。
・積極的に授業に参加し、分からないところはそのままにせず、先生、友人に積極的に質問しましょう。分かっている人は積極的に分からない人に教えましょう。他人に教えることで、問題のポイントやミスしやすい箇所などに注目することができるので、自分の理解も深まります。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関りについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 数列	第1節　数列とその和 1. 数列 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	a:数列の一般項から，各項を求めることができる。 b:等差数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。 c:数の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする意欲がある。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート	提出ノート 提出課題 観察
2学期	第1章 数列	6. 和の記号Σ 7. 自然数の2乗の和 8. いろいろな数列の和 9. 階差数列	a:Σの性質や，Σk，$\Sigma k2$ などの公式を適切に用いて，Σで表された和を計算することができる。 b:数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 c:$f(k+1)-f(k)$ を用いる和の求め方に興味をもち，具体的な問題に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート	提出ノート 提出課題 観察
3学期	第2章 統計的な推測	第1節　確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値 3. 分散と標準偏差 4. 二項分布	a:確率変数の期待値，分散，標準偏差を求めることができる。 反復試行の結果を，二項分布を用いて表すことができる。 b:確率変数の期待値，分散，標準偏差を用いて確率分布の特徴を考察することができる。 c:確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき，確率分布について積極的に考察しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート	提出ノート 提出課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度